

3 副校長を支える「チーム村学」

副校長の職務を支えるのが毎週開催される経営支援会議である。本校は本市東部7校の学校事務を一括して行う東部共同事務の拠点校になっている。そのため4人の都事務職員と小中それぞれの支援員が配置されている。またシルバー人材派遣センターから4人の学校清掃員が配置され、用務を担当している。これに生徒指導部環境課の教員が加わり、校務全体を統括する主席（主幹教諭）が整理をして副校長の仕事や施設整備、そのための予算の検討などを行い、円滑な校務処理を担っている。

経営支援会議 管理職 4 主席 教務部長 生活指導部環境課 東部共同事務室 学園事務室職員（都事務支援員、市費事務嘱託員） 学校清掃員（用務）	都事務支援員による支援例 出勤簿整理、点検 休暇・職免等処理簿整理、点検 教育施設提出資料作成 給食費未納督促書作成 証明書類発行 学校納付金調査の作成 私費会計管理 他
---	---



経営支援会議



出勤簿整理をする支援員

4 成果と今後の課題

成果 学校運営協議会では委員に守秘義務があるため、様々な学校の課題や成果を率直に報告したり検討したりすることができ、学校を正しく評価していただけている。また、委員自身や委員の関係する機関からの支援を受けたり仲介をしていただくことができています。

教育センター会議では、児童・生徒の実態把握や対応について専門性に基づく支援策が検討でき、児童・生徒への適切な支援ができています。

経営支援会議では、施設や予算などについて円滑な運営ができるようになり、関係職員の参画意識が高くなった。また、副校長の職務軽減が進み、学校経営や人材育成に尽力できるようになってきた。

課題 チーム村学の可能性はさらに引き出すことができる。今後も資源を生かし、児童・生徒の育成に資することが課題である。

平成28年度版

村山学園の「チーム村学」

「チーム学校」とは

「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（中間まとめ）平成27年7月16日」より

「チームとしての学校」が求められる背景…社会の変化と学校を取り巻く状況の変化

- 多様化・複雑化する子供の状況への対応
- 学校教育の質的充実に対する社会的要請の高まり

我が国の教職員の現状

- ・我が国の学校は、教員以外の専門スタッフの割合が諸外国と比べて低い現状
- ・日本の教員は授業以外に生徒指導、部活動等の授業以外の業務を多く行っており、授業等に専念することができない現状



教員の専門性だけでは対応が困難になっており、教員の専門性の向上を図るとともに、教員に加えて多様な専門スタッフを配置し、様々な業務を連携・分担してチームとして職務を担う体制を整備⇒学校の教職員構造を転換、学校の教育力・組織力を向上させ、一人一人の子供の状況に応じた教育を実現

「チーム学校」を実現するための視点とその方策

視点1 専門性に基づくチーム体制の構築（教員、事務職員、専門スタッフ等が連携・分担し、それぞれの専門性を発揮できる体制の構築）

⇒多様な専門スタッフが子供への指導に関わることで、教員のみが子供の指導に関わる現在の学校文化を転換

- 心理的・福祉的な専門スタッフの学校における位置付けを明確にし、配置充実につなげるため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを法令に位置付け
- 教員以外に、部活動の指導、顧問、単独での引率等を行うことができるよう部活動支援員（仮称）等を法令に位置付け
- 地域との連携の推進を担当する地域連携担当教職員（仮称）を法令上明確化

視点2 学校のマネジメント機能の強化（校長がリーダーシップを発揮できる体制の整備）

⇒多様な専門スタッフをひとつのチームとしてまとめるために、これまで以上に学校のマネジメントを確立、学校の組織力・教育力を向上

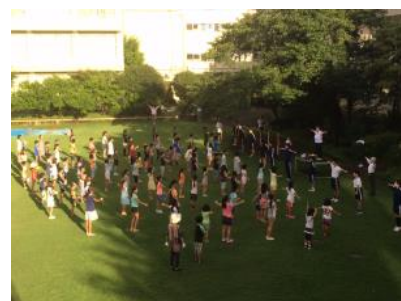
- 学校教育法上の事務職員の職務規定の見直し
- 主幹教諭育成のため実践的な研究プログラムを開発

1 地域、関係機関と連携した「チーム村学」

村山学園は、教育委員会や市当局だけでなく「地域の学校」、つまりコミュニティ・スクールとして地域や様々な関係機関との連携を図り、児童・生徒の育成に取り組んでいます。その中核となるのが学校運営協議会である。

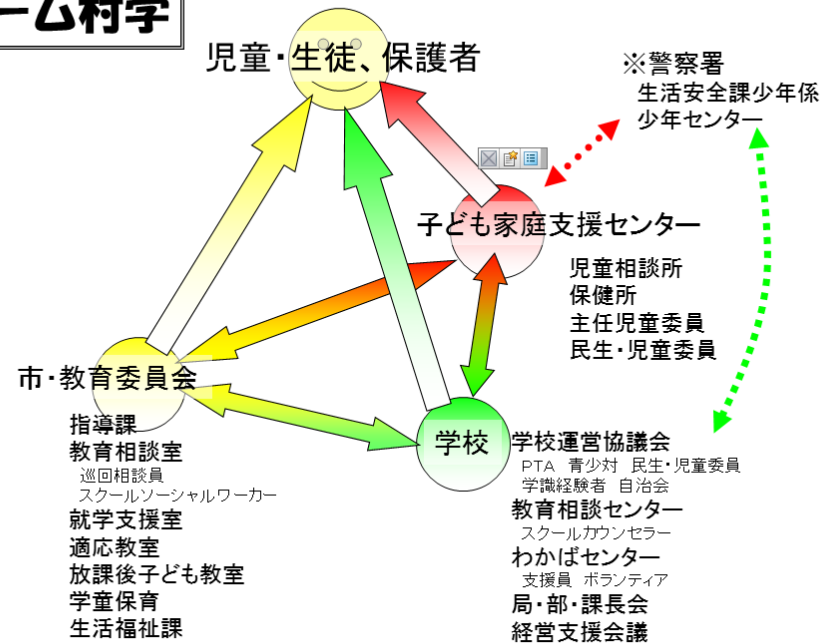


もちつき大会



学校運営協議会委員	
地域の住民	放課後子ども教室コーディネーター 民生児童委員
地域の住民	青少年対策地区委員会委員長 見守り隊隊長
地域の住民	人権擁護委員、元小学校長
地域の住民	自治会長
地域の住民	自治会長
地域の住民	商店会副会長
地域の住民	民生児童委員
地域の住民	元PTA会長、元都立高校PTA会長
保護者	PTA会長
保護者	PTA役員
学識経験者	大学教授、元中学校長
学識経験者	私立高等学校長
学識経験者	元保育園長
学識経験者	保育園長
本校教員	副校長 3 主幹教諭 7 教諭 1

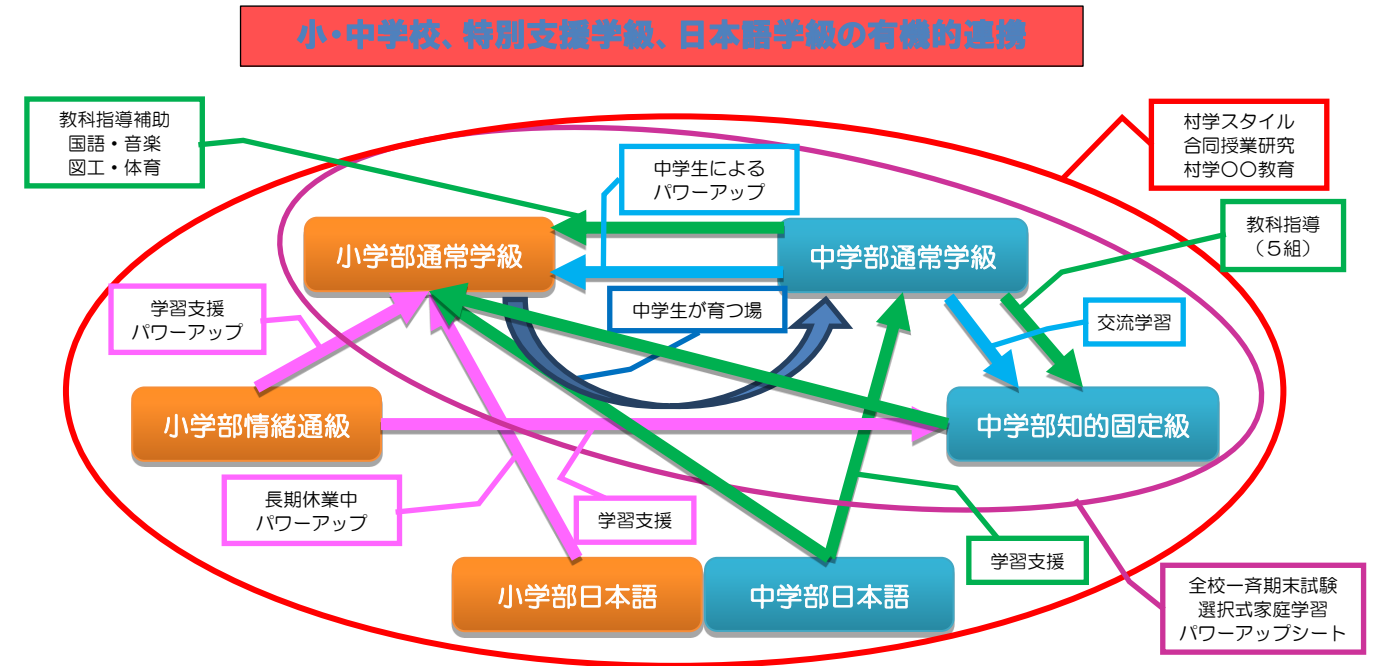
チーム村学



2 小中、すくすく学級(情緒通級)、10組(知的固定)、

小中日本語学級が連携した「チーム村学」

村山学園を構成する6つの「学級」がそれぞれの専門性を生かし、連携して児童・生徒の育成に取り組んでいる。その中核となるのが教育相談センターです。様々な課題のある児童・生徒について各部署の代表が対応を検討し、必要に応じて外部関係機関との連携を図りながら児童・生徒を支援している。



教育相談センター構成員

- 管理職 3
- 学校と家庭支援事業スーパーバイザー
- 小学部特別支援コーディネーター (情緒障害通級指導学級教諭)
- 中学部特別支援コーディネーター (中学部知的障害固定学級主任教諭)
- 中学部主幹教諭 (養護)
- 小学部主任養護教諭
- 生活指導部長 (小学部生活指導主任)
- 生活指導部指導課長 (中学部)
- 情緒障害通級指導学級教員
- 日本語課長 (小学部主任教諭)
- スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 支援員